

## 第26回全国障害者スポーツ大会 選手団サポーター養成基本方針

第26回全国障害者スポーツ大会に参加する選手及び役員の介助・誘導等のサポートを行い、大会運営の円滑化を図るとともに、選手との交流を通して次世代を担う若者が障がいのある方への理解を深め、大会終了後も様々なボランティアとして地域で活躍するきっかけとなるよう、学生等で構成する選手団サポーターを養成する。

### 1 選手団サポーター養成基本方針

- (1) 選手団サポーターの養成は、県が、県内の大学、専修学校等の協力を得ながら行う。
- (2) 選手団サポーターの養成に当たっては、障がいのある人に配慮した行動をとれるよう障がいに係る知識の習得や障がいの理解の促進に係る講習等を行う。
- (3) 選手団サポーターが、選手等との交流の中で経験や知識を得て成長できるよう、県及び県内の大学、専修学校等は、配慮を行う。

### 2 種別及び内容

選手団サポーターは、以下に定義する業務に従事するボランティアをいう。

業務内容	人数
選手団の歓送迎・介助・誘導・交流等、選手団と行動を共にする。	800人

### 3 養成計画

選手団サポーターは、以下の計画により養成する。

2023年度(R5) 【開催4年前】	2024年度(R6) 【開催3年前】	2025年度(R7) 【開催2年前】	2026年度(R8) 【開催1年前】	2027年度(R9) 【開催年】
基本方針策定		養成協力校 連絡協議会設置 カリキュラム・ テキスト作成	配置計画策定	第26回 全国障害者 スポーツ 大会
	協力校選定・依頼	協力校決定	養成講座実施	